

## 西東京データセンターを中核に アウトソーシングサービス事業を強化

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(社長:川崎正己、以下キヤノンMJ)とキヤノンITソリューションズ株式会社(社長:浅田和則、以下キヤノンITS)は現在、敷地面積16,532m<sup>2</sup>、2,300ラック相当の新データセンターを西東京に建設しており、拡大するアウトソーシングサービス事業、クラウドサービス事業の中核拠点として、本年10月よりサービスを開始します。

近年、経営環境の変化やクラウドコンピューティングの進展、事業継続計画の策定・見直しにともない、データセンターを活用した情報システムの戦略的な再構築が注目されています。特に、サーバー統合、仮想化の進展、IT機器の高密度化により、電力、冷却、床耐荷重、環境配慮、セキュリティ面において、従来以上に高度な性能のデータセンターが求められています。

現在建設中の西東京データセンターは、こうしたニーズに応えるもので、最新鋭のファシリティと7段階におよぶ厳重なセキュリティを備えています。また、環境性能を高める省エネルギー技術の導入により、PUE<sup>※1</sup>値1.4の設備設計でエネルギーの効率化を図っています。さらに、都心からのアクセスが良く地盤が強固な西東京に建設しており、津波や液状化などの自然災害リスクが低い立地にあります。

お客様のシステム運用業務の効率化を目的に、運用サービスの業務設計や運用管理、改善、24時間365日の監視などITILをベースとした運用・保守サービスを提供します。また、キヤノンITSの沖縄データセンターを活用したバックアップサービスやディザスターリカバリー(災害時復旧)サービスも用意します。これにより、短時間での効率的な障害復旧や事業継続計画に最適なサービスの提供を実現し、お客様のIT戦略を強力にサポートしていきます。

キヤノンMJおよびキヤノンITSは、西東京データセンターを中核として活用し、グループのクラウドサービス基盤「SOLTAGE」やBPOサービスを強化することで、アウトソーシングサービス事業を拡大します。大手企業を中心にこれまで注力してきたSIサービスに加え、より柔軟で信頼性の高いシステム運用サービスを提案していきます。キヤノンMJグループは、アウトソーシングサービスと保守サービスで構成されるストック型ITサービス事業<sup>※2</sup>全体で、2015年に約500億円の売上を目指します。

※1 PUEとは、データセンターにおけるエネルギー効率を示す基準

※2 スtock型ITサービス事業は、データセンターサービス、システム運用サービス、クラウドサービス、BPOサービス、保守サービスで構成されます。

### <西東京データセンターの特長>

#### 1. 立地および地盤～西東京の強固な地盤に立地

- 武蔵野台地ほぼ中央に位置し、極めて強固な地盤(N値=50以上)
- 災害危険度が低い
  - ・「地震に関する地域危険度測定調査」(東京都)建物倒壊/火災/避難 全て最高ランク1
  - ・標高60m以上、海岸線から十分な距離があるため津波・高潮のリスクが少ない
  - ・液状化リスクがほとんどない地盤
- 災害時に都心から駆け付け可能
  - ・都心から大きな河川越えのない立地

#### 2. ファシリティ～「ティア4」<sup>※</sup>レベルの最新鋭ファシリティ

- 基礎免震構造
  - ・免震装置とオイルダンパーを組み合わせて地震動を低減
  - ・制震ダンパーにより縦揺れを低減
- 床耐荷重1.5t/m<sup>2</sup>
  - ・高集積サーバーや大型ストレージを搭載可能
  - ・1ラックあたり平均6kVA、最大20kVA(定格値)の電源供給
- 二重床の高さ1000mm
  - ・床下ケーブル配管に邪魔されず冷気を送れるため空調の高効率化を実現
- 障害対策
  - ・電力や通信回線の引込は2系統
  - ・冷凍機、冷水配管は2N構成、空調機(AHU)はN+2の冗長性を確保
- 非常用自家発電設備
  - ・N+1の冗長構成で、負荷が最も高い状態で72時間稼働が可能な燃料を確保
  - ・最優先燃料供給契約を複数確保

※ ティア:日本データセンター協会(JDCC)が「データセンターファシリティスタンダード」で定めた建物や設備の評価基準。ティア4が最も高い評価。



基礎免震構造



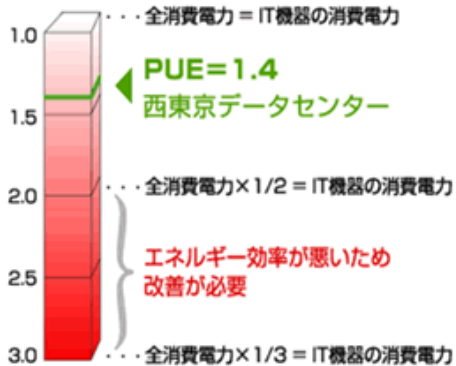
免震装置



縦揺れ制震ダンバー  
(粘弾性ダンパー)

### 3. グリーンデータセンター～環境に配慮したPUE=1.4の設備設計

- 高効率な空調システム
  - ・高効率熱源空調機器(冷凍機)の導入
  - ・フリークーリングの活用
- 自然エネルギーの活用
  - ・免震ピットの冷気を利用したクールピット
  - ・通路には自然採光を効率的に取り入れた省エネ設計
  - ・外構には植栽を配置し、一部、屋上緑化を実現



### 4. セキュリティ～7段階におよぶ厳重なセキュリティ

- 7段階のセキュリティを実装
  - ・ボディースキャナーやX線手荷物検査装置による厳格な持込・持出検査を実施
  - ・サーバー室入り口は生体認証付ローターゲートによる共連れ防止対応
- 監視カメラシステム
  - ・最大で470台設置可能。映像は90日(重要度に応じて最大180日まで)保存
- 金融情報システムセンター(FISC)のガイドラインに準拠

### 5. 運用サービス～ITILをベースとした豊富な運用サービス

- 業務システム運用サービス
  - ・ユーザー登録や問い合わせ対応、ジョブ登録・変更、システムの構成管理など業務システムの運用を代行
- 運用基盤の構築 維持管理サービス
  - ・お客様のプライベートクラウドやサーバー、ストレージ、ネットワーク環境の設計、構築保守サービスを提供
- 運用監視サービス
  - ・監視センターから24時間365日体制でお客様のシステムを常時監視
  - ・あらかじめ定められた手順に従い、障害復旧作業やエスカレーションを行う
- ファシリティサービス
  - ・ラック配列・冷却方式、電源の設計・施工、インターネットへの接続環境および機器状況の管理レポートを提供

■ 資産管理サービス

- ・お客様のサーバー機器やソフトウェアライセンスなどの契約・IT資産の管理

<施設概要>

建設予定地	東京都西東京市
階数	地下1階～地上4階
建物高さ	26.95m（軒高）
敷地面積	16,532m <sup>2</sup>
ラック数	1階：700ラック、2階：800ラック、3階：800ラック
構造	鉄骨造（柱CFT造）X方向・Y方向ラーメン構造
地震対策	免震装置、制震装置
階高	5,450mm（1階、2階）
CPU室床高	1,000mm
CPU室床耐荷重	1.5 t/m <sup>2</sup>
電力・通信回線引き込み	各2系統 ※通信回線はマルチキャリア可能
消火設備	不活性ガス消火、超高感度煙検知器
空調・冷却設備	床吹出型空調（17℃±2℃）、局所冷却設備（オプション）

● [「西東京データセンター」ホームページはこちら](#)